

2月25日正午必着

明石春浦先生書

昔賢懷一飯
 茲事已千秋
 古墓樵人識
 前朝楚水流
 鶻愁舊草車
 綠王孫舊此游
 瀆蘋行客薦
 山木杜鵑愁

昔賢懷一飯
せきけんいっばんをおもう
 瀆蘋行客薦
しよひんこうかくすめ

茲事已千秋
このことすでにせんしゅう
 山木杜鵑愁
さんぼくとけんうれう

古墓樵人識
こぼしやうじんしり
 春草年年綠
しんそうねんねんみどりなり

前朝楚水流
ぜんちやうそいながる
 王孫舊此游
おうそんもとここにあそぶ

(劉長卿)

明石幸子書

筆硯に小柄の鏝や梅二月

筆硯に小柄の鏝や梅二月

筆硯に小柄の鏝や梅二月(楠目橙黄子)

泊舟盱眙（常建）
 泊舟淮水次 霜降夕流清
 夜久潮侵岸 天寒月近城
 平沙依雁宿 旅館聽雞鳴
 鄉國雲霄外 誰堪羈旅情

めづらしく今朝うぐひすを ききしより 一日のどけき わが心かな （入江 爲守）

對青山依綠水（沈周）
 春回雨點溪聲裏 （楊萬里）
 人醉梅花竹影中

春遊の形容。青々とした山を見、緑を流す川辺に遊ぶ。
 春はしとんと降る雨にも谷川のせせらぎにも 帰って来た。人々は梅花竹林の間に酒に酔う。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

問余何意住碧山 笑而不答心自閑
 桃花流水窅然去 别有天地非人間 （李白）

或る俗人が私に、何のためにこんな樹ばかり茂った山の中に住んでるのか、とたずねた。私はこれに答えずに冷笑しただけであったが、私の心はそんなことにかかわりなく静かなものだ。ごらんなさい、のんびりとしたあの桃花流水を。ここは俗物の住む世間とは違った、別天地なのだ。



西 墨濤先生書

半紙部規定課題A

2月25日正午必着

穢 甸
雉 麥
深

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

2月25日正午必着

行書

旬麥深
藏雉

隸書

旬麥深
藏雉

明石春浦先生書

草書

旬麥深
藏雉

行草書

旬麥深
藏雉

世の中はいつたにどうなっているのだろう 東西にはるか離れて過す私たち
いつもすぐにも会えるかと思いつながら かえってながく便りもないということになってしまっ
田の麦は深く茂って雉をかくし 淮河の苔むす岸辺、水浅くして魚が見えている
懐しく思慕しながら会うことができないままに あのさやかな月が幾たび満ち欠けたことか

寄友人

張 蟻

世道復何如
東西遠索居
長疑即見面
翻致久無書
旬麥深藏雉
淮苔淺露魚
相思不我會
明月幾盈虛

友人に寄す

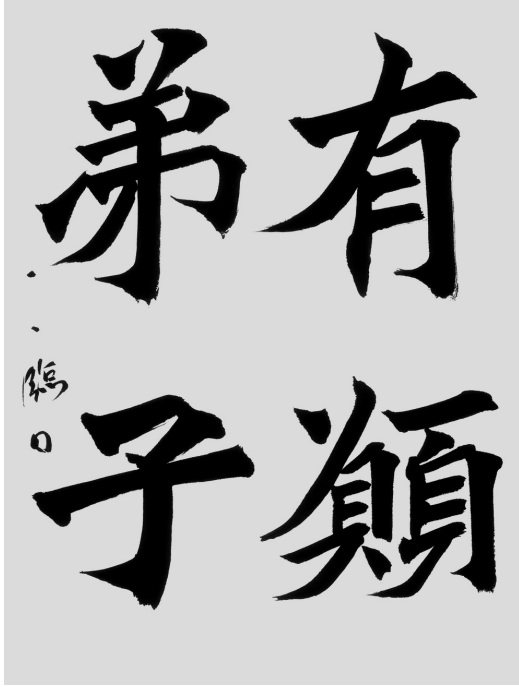
張 蟻

世道 復た何如
東西 遠く索居す
長に疑う 即ち面を見るかと
翻つて致す 久しく書無きを
旬麥 深く雉を藏し
淮苔 浅く魚を露わす
相思えども 我と会せず
明月 幾たびか盈虚せし

(出典)

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

2月25日正午必着



有願弟子等

雨宮春聲先生臨書



敬造石像一区、願
国祚永隆、三宝弥

顯、有願弟子等、榮（茂）

敬みて石像一区を造る。願わくは国祚永隆にして、三宝弥いよ顯われんことを。有願の弟子等、榮（茂）せる春葩のごとく、

北魏・孫秋生劉起祖二百人等造像記

中国各地には数百もの石窟寺遺跡が散在しているが、なかでも群を抜いて規模が大きいのが甘肅省の敦煌・山西省の雲崗そして、河南省の龍門石窟である。石窟寺は山岳を掘削して洞窟をつくり、そこに仏像を刻し安置した仏教施設であり、さらにその由来を壁に刻したものを造像記とよんでいる。

龍門石窟は河南省洛陽の南約十三キロメートルの龍門にあり、伊水をはさんで東西に石灰岩の岩山が対峙している。北魏王朝の孝文帝が洛陽に遷都（四九三）するとともに、北方の民族臭を払拭することを目的に、漢化政策の一端として龍門を掘削させたのを最初とし、以来何百年もの長期にわたり無数の石窟の造営が行われ、随・唐を経て五代・北宋までおよんでいる。それにもなう造像記の数も、文字の識別し得るもので三千種以上もあるといわれている。そのうちおよそ三百種ほどのものが北魏刻とされており、北朝の書をうかがう資料として大変貴重なものである。古来、そのなかの書法のすぐれたものを選んで龍門二十品とよんでいる。

この孫秋生造像記はその二十品のうちの一つにあげられ、龍門石窟最古の古陽洞のなかにある。緊密な構成、鋼のような鋭い線質、えぐる如き転折。結構法とともに起筆から終筆にいたるまでのゆるぎない力強さを学びたい。

（春濤）

敬造石像一區願國社永
 隆三寶身弥有願弟子

敬造石像一區、願國社永隆、三寶身（頭）、有願弟子

△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

野寺分晴樹山亭過晚霞春
 深無客到一路落松花

野寺分晴樹 山亭過晚霞
 春深無客到 一路落松花

（施閨章）

野寺には木々が日にくっきりと映え、山亭には夕暮れのもやがただよう。このあたり、春色深く、たずねる人もなく、路行けば松花が静かに落ちるのみである。松花は松黄ともいう。



しも
霜

ばしら
柱

中学一年

雨宮春聲先生書



りょ
旅

じょう
情

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



け
毛

がわ
皮

小学三年

藤田幸春先生書



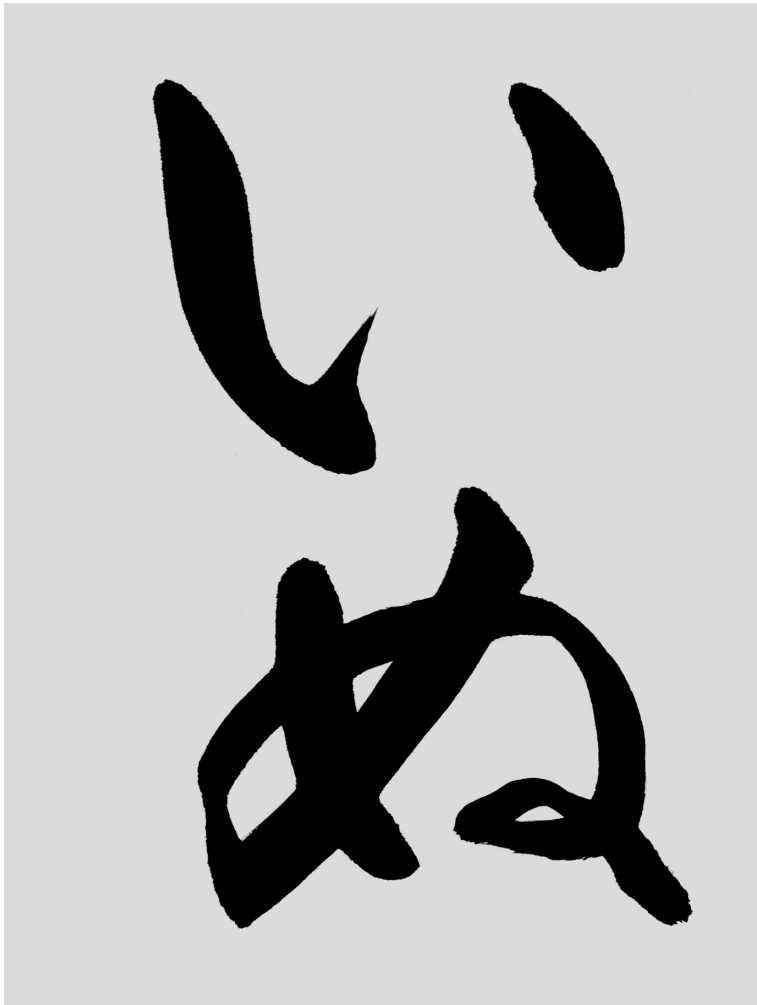
ゆき
雪

そら
空

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い ぬ 小学一年・幼年



森戸春濤書

ふゆ び 日 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



雨宮春聲先生書

しも
霜

ばしら
柱

中学一年



菅井松雲先生書

りょ
旅

じょう
情

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



ひょう
氷

けつ
結

小学五年

榎戸春龍先生書



けん
建

こく
国

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



け
毛

がわ
皮

小学三年

藤田幸春先生書



ゆき
雪

そら
空

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い ぬ 小学一年・幼年



森戸春濤書

ふゆ び 日 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

げん象をおそれた	大昔の人は自然の
----------	----------

小学五年

で知られる地方だ	ここは積雪の多さ
----------	----------

小学六年

この道を信じて行く	どんなに険しくても
-----------	-----------

中学

な出来事が起こっている	広い社会には絶えず色々
-------------	-------------

一般(級位)

かゝる神ありし鳥たかくたり	浦人の日も夕暮になるみがたかへる袖より千鳥なくなり(源通光)
---------------	--------------------------------

一般(段位)

浦人の日も夕暮になるみがたかへる袖より千鳥なくなり(源通光)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可) また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

う	み
	ん
ふ	な
く	で
は	
う	ま
ち	こ

幼年

な	し
ま	せ
え	い
を	を
か	正
い	し
た	て

小学一年

ま	北
ど	き
か	よ
ら	く
み	星
え	が
る	

小学二年

る	弟
ま	と
を	大
つ	き
く	な
つ	雪
た	だ

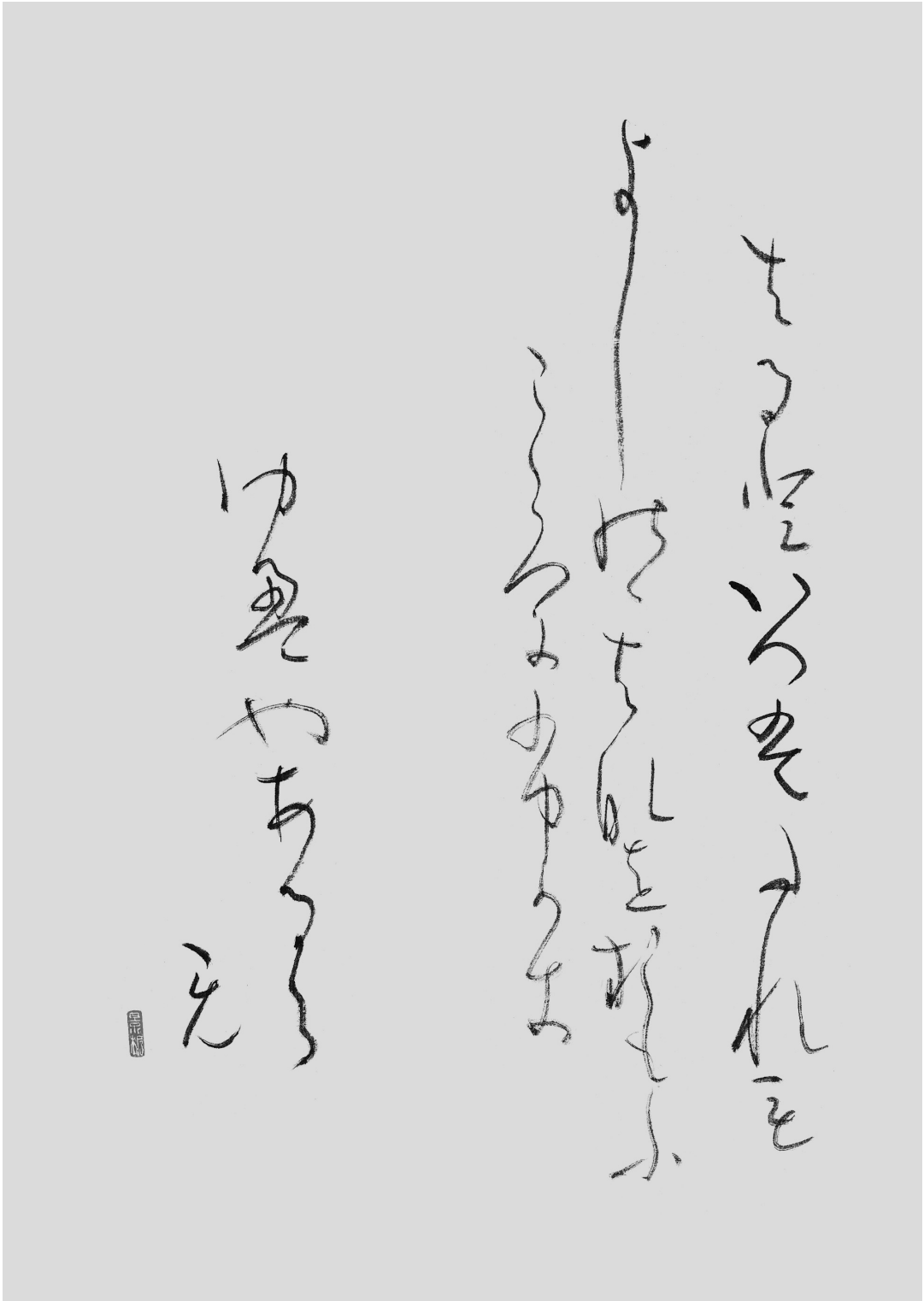
小学三年

雪	ち
合	か
せ	く
ん	の
を	広
す	場
る	で

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



はるといへはたれもよしの
 者登盤多毛能
 はなをおもふこゝろにふかき
 者那於尔布可支
 ゆえやあるらん
 盈无

(山家集)

岩本景楓先生書